

市長から



市民のみなさんへ 22

山陽小野田市長 白井 博文

改革ははじまったばかりです

平成 18 年度予算案が 3 月議会で可決されました。当初 12 億円の歳入不足が見込まれていましたが、3 ページにありますように行財政改革の成果を反映させることにより、何とか “大きな穴” を埋めることができました。その過程で、各種団体への補助金の削減、手数料の見直しなど、市民のみなさんに負担を強いる事態になったことについては返す返す申し訳なく思います。また、職員の給与カットのみならず、昨年度に引き続き市議会の議員のみなさんにも 25% という大幅な報酬カットに応じていただいたおかげで、人件費は昨年比で 9.4% も削減することができました。ご協力いただいたことに厚くお礼申し上げます。

市長に就任した時、私は「市役所から徹底してムダをなくします」とみなさんにお約束しました。それは物件費の削減、つまり施設を統廃合し管理運営費を見直すなどして、義務的経費である物件費を大幅に削減することを意味していました。今回、18 年度予算編成に臨むにあたって、当初はこの物件費にメスを入れ、それでも足りない部分を他のところで削減し補うという順序で作業をすすめていくつもりでしたのです。しかし、施設の見直しを行うには、利用している方々の声を聞き、市の考えを説明し、意見のやり取りを行う必要があります。時間的な余裕がなかったというのが実のところ。そのため、本来でしたら 18 年度予算の中で切り込んでいくはずだった物件費に手をつけることができず、他の分野で削減していかざるを得なくなり、結果的に多くの方にご迷惑をおかけする事態となったことについて、たいへん心苦しく思っています。なお、一部施設については、平成 18 年度に見直しを行います。どうかご理解をお願いします。


平成 18 年度は、平成 19 年度予算に物件費の削減を反映できるように、まず上半期に一つひとつの施設について管理運営形態を見直し、下半期にはまとめた案を利用者や地域の方々にご説明し、ご意見を伺いながら、すべての施設について統廃合を含めた一定の方向性を打ち出すつもりです。また、売却可能な市有財産の積極的な売却も行っていき、歳入の確保も目指していきます。市民のみなさんには、まだまだご迷惑をおかけすることが予想されますが、これからの 3 年

間は山陽小野田市が赤字再建団体に転落するかどうかのぎりぎりの崖っぷちに立たされているということをご理解いただき、ご協力をお願いするしかありません。長く暗いトンネルの中に入ったばかりですが、このまま改革を続けていけば、トンネルを抜けるころには必ずや生まれ変わった山陽小野田市が姿を現すことでしょう。その日が来ることを信じて、引き続き改革を断行していく決意を強くしているところです。

なお、11 ページには新たな試みとして、とかく専門用語が多く理解しづらいと言われる予算を、家計簿に例えてみました。少しでも多くの方に市の財政の現状を身近なものとして把握していただけるならうれしく思います。


「市民ふれあいの集い」 たくさんのご来場ありがとうございました

3 月 21 日に開催された「市民ふれあいの集い」にたくさんの方にお集まりいただきありがとうございました。本市出身のバリトン歌手、河野克典さんはじめ、多くの方に門出の日に花を添えるステージ演出を行っていただき、ご来場の方々にも喜んでいただけたのではないかと思います。また、少し天候が思わしくありませんでしたが、会館の外では各種団体のご協力で多くの出店が立ち並び、たいへんにぎわいを見せました。山陽小野田市の 1 歳の誕生日を多くの人とお祝いすることができて、市長としてたいへんうれしく思います。関係者のみなさん、本当にありがとうございました。1 歳となった山陽小野田市が、よちよち歩きから自らその歩みを記していくにはまだまだ時間がかかることでしょう。しかし、市民のみなさんとともに手と手を取りあって、山陽小野田市の未来をともに歩いていく決意を新たにしているところです。



**4・5月の
対話の日**

4月27日(木) 旦西自治会館
5月25日(木) 鳥越福祉会館
※19:00から 1時間30分程度です



**4・5月の
市政説明会**

4月 9日(日) 赤崎公民館
4月23日(日) 津布田会館
5月14日(日) 本山公民館
※19:00から 1時間30分程度です